

新冠を存分に満喫

新冠体験ツアー実施

新冠町の交流人口を増やそうと企画された「新冠体験ツアー」が8月31日から9月23日まで、6回開催され、札幌市の子ども会を中心に198名の皆さんが新冠町体験ツアーに参加しました。

このツアーでは、町内の農家の方々にツアーの趣旨に賛同いただき、収穫体験を行なったほか、アイヌ文化を体験してもらったりトンボ玉製作も行ないました。また、新冠温泉では地場産の野菜を使った特製カレーも提供され、新冠の味を堪能してもらいました。



収穫体験では、参加した子どもたちも目を輝かせながら野菜の収穫を行い、畑やハウスを提供していただいた農家の皆さんも喜んでいました。

トンボ玉製作では悪戦苦闘する場面もありましたが、手作りのトンボ玉キーホルダーが完成すると参加者全員大喜びしていました。

避難に勝る防災なし

自主防災についての講演会を開催

10月2日、レ・コード館で自主防災についての講演会が開催され、地域住民の皆さんなど70名が講演に耳を傾けました。

講師は災害救援ネットワーク北海道代表の山口幸雄さん。山口さんは全国の災害現場に出かけ救援活動を行なっているらしいです。



講演では、山口さんの体験談を交えながら、災害が発生したときの心構えや自主防災とりわけ地域のつながりの大切さを話してくださいました。

紅白に分かれて熱戦を展開

第34回新冠町老人スポーツ大会開催

10月2日、スポーツセンターで第34回新冠町老人スポーツ大会（新冠町老人クラブ連合会主催）に約140人の皆さんが参加して行なわれました。

大会では、赤組、白組に別れ、玉送り競争など10種目の競技が行なわれました。競技が始まると競技参加者はもちろん、競技を観戦している皆さんも一緒になって応援し、白熱した競技に大歓声を上げていました。

大会は、914点を取った白組が勝利しましたが、お昼休みには参加者で盆踊りを踊るなど、参加者全員が楽しめたスポーツ大会となりました。



また、新冠ライオンズクラブから参加者全員にジュースが差入れされたほか、ボランティアグループあゆみの皆さんが競技審判や受付のお手伝いをしてください、大会を盛り上げてくれました。

題

あれこれ

楽しく交通安全を学ぶ

こぐまクラブ交通安全教室開催

秋の全国交通安全運動の一環として、9月24日、こぐまクラブ交通安全教室が新冠保育所で開催されました。



交通安全教室では、ボランティアの植村雪枝さん、ゆきんこクラブの皆さんによる腹話術や寸劇などを通して、交通安全や交通ルールについて学びました。植村さんの熟練された腹話術や寸劇に子どもたちも次第に引き込まれ、楽しみながら交通安全の大切さや交通事故の怖さについて勉強することができました。

また、新冠駐在所の遠藤所長から「出演者の皆さんから交通安全の大切を教えてもらったと思います。これから交通ルールを守ってくださいます。子どもたちも元気良く「はい」と返事をしていました。」

ま ち の 話

震度5弱を観測

新冠泥火山で噴泥現象

9月11日午前9時20分、十勝沖で海溝型地震が発生し、新冠町では震度5弱を観測しました。

幸い、町内で大きな被害はなく、すぐに平静を取り戻しましたが、北海道文化財天然記念物に指定されている新冠泥火山に大きな変化が見られました。

それは、地中の泥塊などが地中に噴出する噴泥現象と呼ばれる現象で、地震



が起きた数十秒間の間に50センチ以上も隆起した箇所があったほど、大きな活動だったそうです。

新しい消防防災用軽自動車を導入



9月10日、日高中部消防組合新冠支署に新しい消防防災用軽自動車と小型動力ポンプが導入され、小竹町長に披露されました。消防防災用軽自動車と小型動力ポンプは新冠消防団第5分団太陽に配備され、地域の迅速な防災活動や消火活動に役立てられます。

中央自治会で交通安全看板を設置



この度、中央自治会交通安全部では交通安全の意識を高めるため、交通安全看板を新冠小学校の隣に設置しました。

この看板に書かれている標語は新冠小学校児童会が学校内で募集して決めたものです。

皆さんもこの看板を見かけたら交通安全を思い起こしてください。